

○集落営農組織を核とした人・農地プランの策定

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	愛媛県東温市 奥松瀬川			
協定面積 26.4ha	田 (95%)	畑 (5%)	草地	採草放牧地
	水稻	野菜		
交付金額 537万円	個人配分			51%
	共同取組活動 (49%)	役員手当		6%
		農業生産活動費		5%
		農道・水路管理費		19%
その他(機械購入補助等)		19%		
協定参加者	農業者 49人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

奥松瀬川集落は、東温市旧川内町の県道湯谷口・川内線の谷筋に位置する典型的な中山間地域である。当集落の農業は、水田作を中心とした兼業農家地帯で、数名の畜産農家がいる。農業従事者の高齢化、担い手不足に加え、近年は、野生鳥獣による農作物被害の増加が深刻化し、農業生産活動の維持が困難になることが懸念されていた。そこで、耕作放棄地の発生を防ぎ、担い手の育成や地域の活性化、持続可能な農業を推進するため、平成12年度から本制度に取り組むこととした。

3. 取組の内容

当集落では、これまで、共同取組活動として、農道・水路の管理、景観形成作物(ひまわり、コスモス)の栽培、兼業・専業農家の子弟を含めた世代間交流等を行ってきた。平成22年度には、集落営農組織の設立を検討する「奥松瀬川集落営農を考える会」を設立し、定期的な検討会の開催、先進地視察研修等を実施。その結果、平成23年4月に、集落の農地は集落みんなで守ることをスローガンに集落営農組織「桜羅楽農会(おうららくのうかい)」の設立に至った。さらに、平成24年度には、人・農地プランの策定に向けたアンケート調査や集落内での周知活動等を重ね、平成24年9月に東温市初の人・農地プランを策定し、地元住民、市長、県議会議員ら200人が参集し、「人・農地プラン完成記念収穫祭」を盛大に開催した。



【人・農地プラン完成記念収穫祭】



【先進地視察研修】

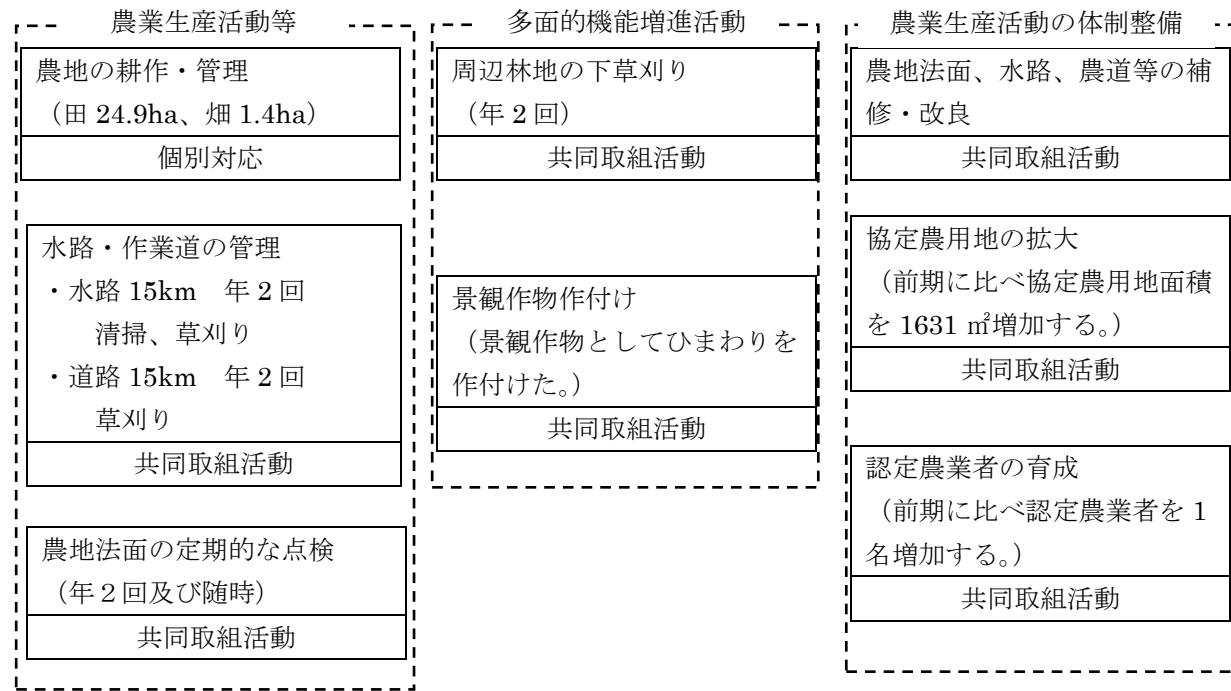
[集落の将来像]

○ 耕作放棄地の発生を防止するため、本制度を活用し集落営農組織を通じて、農作業受託を運営する。また、6次産業化を視野に入れた加工に適した品目を導入する。



[将来像を実現するための活動目標]

○ 本制度を活用した集落営農組織の活動を重点項目とし、多面的機能増進活動、体制整備活動を実施する。



4. 今後の課題等

本制度への取組みを契機に設立した集落営農組織「桜羅楽農会」が中心になり、平成 24 年 9 月に東温市初となる人・農地プランを策定し、青年就農給付金（1 名）が承認されている。このプランでは、「桜羅楽農会」1 組織、認定農業者等 6 名、45 歳未満の新規就農者 2 名を当地区の中心となる経営体として位置づけている。今後は、このプランに基づき、当地区を東温市のモデルケースとして、新規就農者の確保・育成、農作業受委託の推進、6 次産業化を視野に入れた加工に適した新規作物（こんにゃく、葉わさび）の導入等、更なる集落の活性化を図っていきたい。

また、平成 19 年度から取り組んでいる農地・水保全管理交付金との連携、新規就農者の確保を継続させるための農業機械の共同化等について、協定内の話し合いを充実させなければならないと思われる。

[第 2 期対策の主な成果]

- 新規就農者、認定農業者の確保（新規就農者 1 名、認定農業者 2 名）
- 多面的機能の持続的発揮に向けた非農家・他集落等との連携（連携相手先：非農家 11 名）